

### 【基本理念の設定】

急激な人口減少に伴う水道料金収入の減少、高度成長に整備した水道施設の更新需要の増大、団塊世代のベテラン職員の退職、また、相次ぐ自然災害への備えなど、水道事業における経営環境はさらに厳しさを増していくことが予想されます。

このため、安全・安心かつ持続可能な事業運営のための堅実な投資や、広域化・官民連携等を含めた抜本的な改革が求められています。

このような激動する「社会情勢の変化」のもと、これまで築き上げてきた「安全」と、利用者から「信頼」される運営を、次世代につなぐことを目指し、事業運営に取り組んでいきます。

### 【基本理念（案）】

変わりゆく時代に、安全・信頼される水道を未来へ

61

## 第4章 1. 基本理念・基本方針・目標

### 1. 基本理念

変わりゆく時代に、安全・信頼される水道を未来へ  
～湖西市水道事業～

基本理念を実現するための基本方針を設定

### 2. 基本方針

様々な経営課題や環境の変化に対応し、将来に  
わたり『安全で強靱な水道経営を持続する』

基本方針に基づき、安全・強靱・持続の観点から目標を設定

### 3. 目指すべき将来像と目標

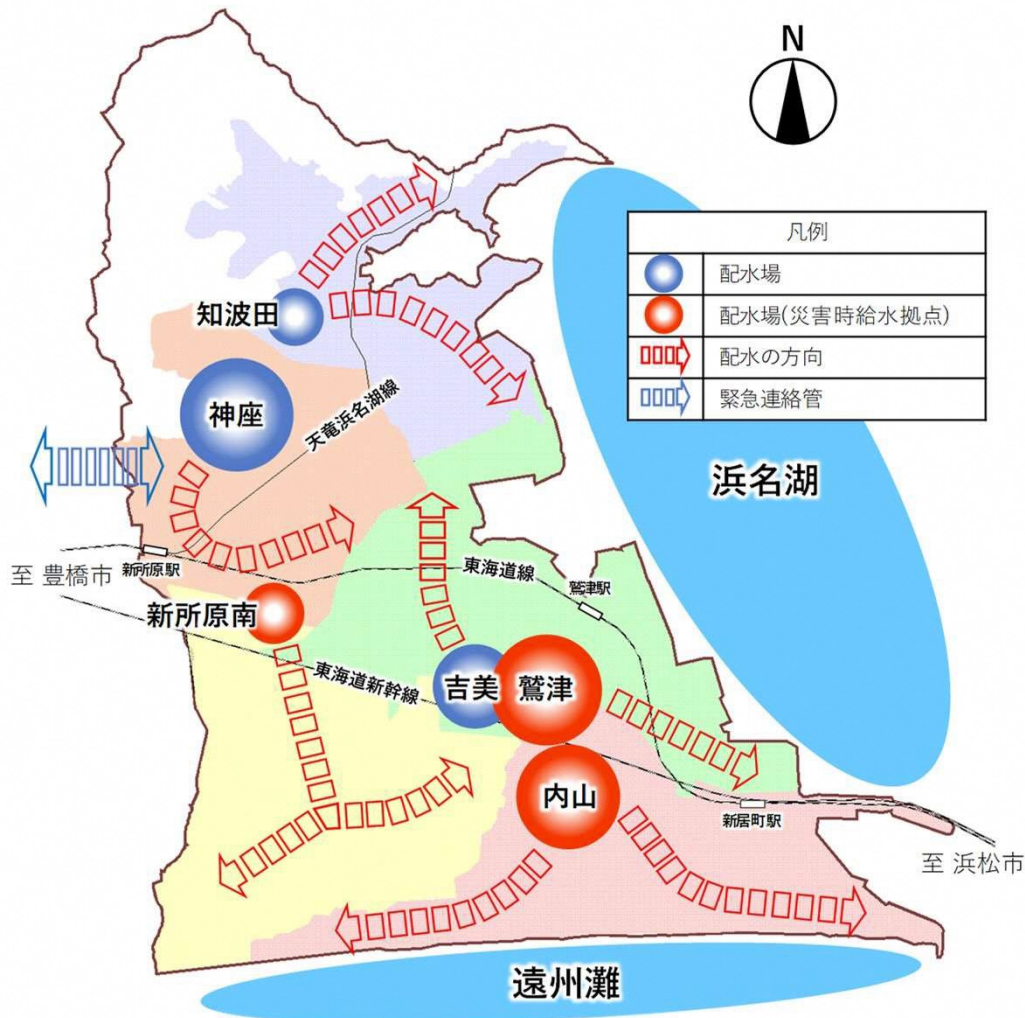
安全	目標：安心でおいしい水の供給
強靱	目標：災害に強く安定した水道施設の構築
持続	目標：将来にわたり信頼される事業経営

62

## 第4章 2. 目指す将来像と目標

湖西市水道事業  
が目指す将来像

安全で強靱な水道経営の持続



安全

目標：安心でおいしい水の供給

- 利用者へ良質な水道水を提供するため、水質改善に努めます
- 将来にわたり安全安心な水の供給ができるよう、水質管理・衛生対策の強化を行います

強靱

目標：災害に強く安定した水道施設の構築

- 様々な自然災害による被害を最小限にとどめ、迅速な復旧や応急給水が行える強固な水道システムの構築、体制作りに努めます

持続

目標：将来にわたり信頼される事業経営

- 料金高騰や世代間の不公平が生じないように、適正水準・適正料金による健全な事業経営の継続を目指します
- 将来の水需要や更新事業等を踏まえ、効率的な施設整備を行います
- 現行の業務内容を見直し、更なるコスト縮減・経営効率化に取り組んでいきます
- 利用者へ業務サービスから水道の安定供給など、幅広い情報をわかりやすく提供します

## 第4章 3. 施策体制

### 安全

目標：安全でおいしい水の供給

基本施策	施策	具体的施策
水源水質の維持	★塩水化対策の強化	① 揚水量管理と定期調査の実施
浄水水質の管理	残留塩素濃度管理の強化	② 適正塩素注入率の管理
	直結給水の拡大	③ 直結給水可能区域（3階建物）の設定

### 強靱

目標：災害に強く安定した水道施設の構築

基本施策	施策	具体的施策
計画的な安定水源の確保	★揚水可能量の調査	① 水源井更新計画の策定
	★水源井更新計画	
施設・管路の耐震化	管路耐震化計画の見直し	② 管路耐震化計画の見直し
災害対応の強化	各種災害時を想定した防災計画の見直し	③ 各種防災計画の見直し
		④ BCPの策定

★付きは重要施策

64

## 第4章 3. 施策体制

### 持続

目標：将来にわたり信頼される事業経営

基本施策	施策	具体的施策
事業経営の健全性の確保	財政基盤の強化（収入）	① 料金体系の検証
		② 資金調達計画の策定
	財政基盤の強化（支出） 財政基盤の強化（その他）	③ 支出の削減方策の検討
		④ 遊休資産の整理
施設の効率性・健全性の確保	★配水区域の再編 ★施設・管路適正化の検討	⑤ 施設再編（浄配水施設の統廃合） ⑥ 施設・管路能力の見直し（ダウンサイジング）
	施設情報管理の強化	⑦ 施設台帳の電子化 ⑧ マッピングシステムの再構築
		官民連携の実施 新技術の導入
	運営基盤の強化	
利用者との相互理解の推進		⑫ 新たな情報提供・サービスの導入
県の動向を踏まえた広域化の検討		⑬ シェアードサービスの導入

★付きは重要施策

65

## 第4章 4. 取り組み施策 【安全】

基本施策	水源水質の維持
施策	塩水化対策の強化 <span style="float: right;">★重要施策</span>

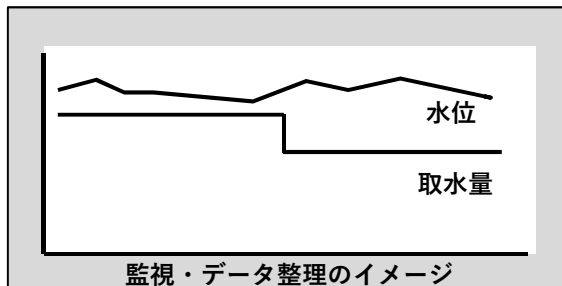
### 【目標】

頻発する災害への備えとして、自己水源である地下水源の水質を維持するため、揚水量の管理を行い、また、揚水量の調査対象を増加させます。

### 【具体的施策】 揚水量管理と定期調査の実施

- 水源井の揚水量を適正揚水量以下で管理するとともに、定期的に水源井の調査を行います。
- 廃止井戸を観測井として活用しながら、地下水位などの傾向を把握し、適切な地下水利用を行います。

### 【施策イメージ】



各水源井ごとに監視

66

## 第4章 4. 取り組み施策 【安全】

基本施策	浄水水質の管理
施策	残留塩素濃度管理の強化

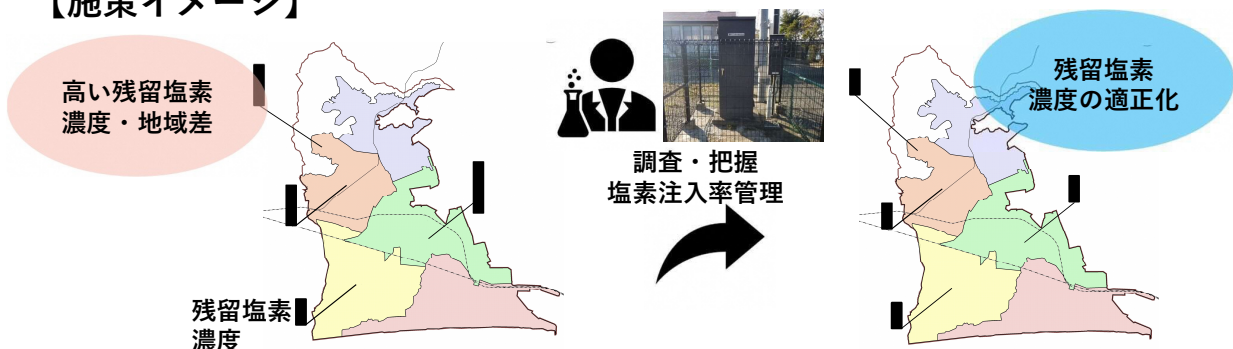
### 【目標】

利用者のおいしい水に対するニーズが高まっていることから、浄水水質の管理を適正に継続するとともに、残留塩素濃度について適正注入率を調査し、調査結果に基づき残留塩素濃度管理を実践します。

### 【具体的施策】 適正塩素注入率の管理

- 末端給水栓までに消費される塩素量を、残留塩素濃度シミュレーションを基に現地調査を行い、適正な塩素注入率の管理を実践します。

### 【施策イメージ】



67

## 第4章 4. 取り組み施策 **【安全】**

<b>基本施策</b>	浄水水質の管理
<b>施策</b>	直結給水の拡大

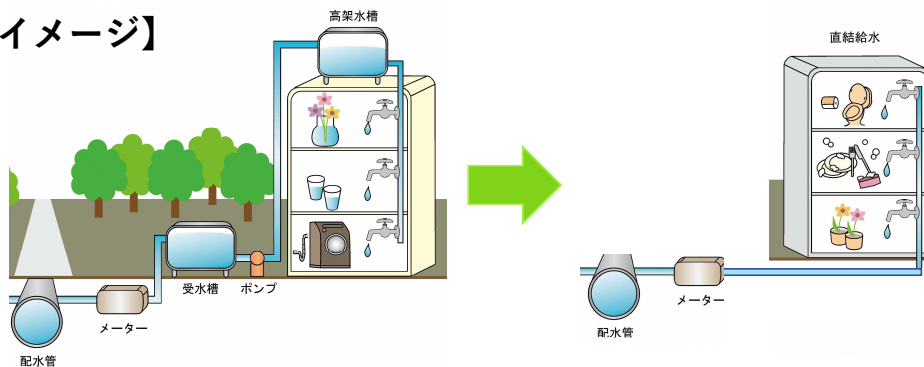
### 【目標】

利用者のおいしい水に対するニーズが高まっていることから、浄水水質の管理強化策として、3階建までの建物を対象に直結給水を認めることとし、受水槽の管理状態によらず安全な水を提供できるようにします。

### 【具体的施策】 直結給水可能区域（3階建物）の設定

- 管網計算結果により、3階建て建物（一般住宅）の直結給水切替えが可能なエリアを設定し、区域を設定して直結給水への切替えを推進します。

### 【施策イメージ】



68

## 第4章 4. 取り組み施策 **【強靱】**

<b>基本施策</b>	計画的な安定水源の確保
<b>施策</b>	揚水可能量の調査 <span style="float: right; color: red;">★重要施策</span>
	水源井更新計画 <span style="float: right; color: red;">★重要施策</span>

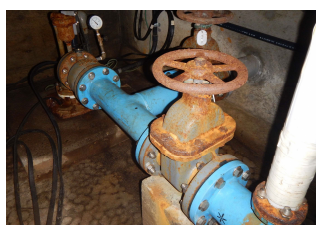
### 【目標】

頻発する災害への備えとして、災害時にも安定水源として取水できるような揚水可能量の調査を行うとともに、老朽化した水源井について、更新するための計画を策定し、計画に基づき更新を実施します。

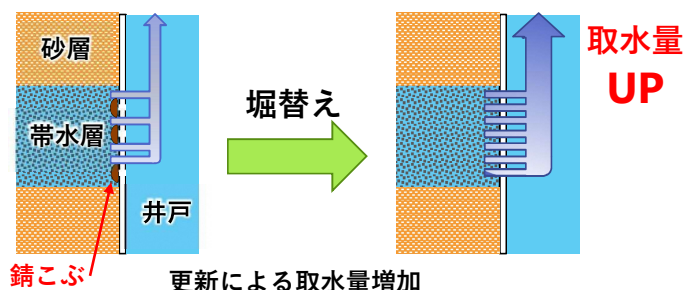
### 【具体的施策】 水源井更新計画の策定

- 市内の老朽化した水源井を計画的に更新するとともに、揚水試験の実施により揚水可能量を調査し、必要取水量が確保可能かを確認します。

### 【施策イメージ】



吉美1号井（内部）



更新による取水量増加

69

## 第4章 4. 取り組み施策 **【強靱】**

<b>基本施策</b>	施設・管路の耐震化
<b>施策</b>	施設・管路の耐震化計画の見直し

### 【目標】

大規模地震が懸念される中で、耐震化が進んでいない施設・管路について、耐震化計画の見直しを行い、効率的・効果的に耐震化を進めます。

### 【具体的施策】管路耐震化計画の見直し

- 平成28年度に策定した施設・管路更新計画を基に、今年度実施した施設再編検討や管体調査結果を踏まえて見直します。
- 見直しにあたっては、基幹管路や重要給水施設管路（病院・避難所等へ水を供給するための管路）など、災害時に破断した場合の影響が大きい管路を優先的に耐震化することとします。

### 【施策イメージ】



70

## 第4章 4. 取り組み施策 **【強靱】**

<b>基本施策</b>	災害対応の強化
<b>施策</b>	各種災害時を想定した防災計画の見直し

### 【目標】

大規模災害が頻発している中で、耐震化とあわせて防災計画を見直し、これら災害への対応性を強化します。

### 【具体的施策】

#### 各種防災計画の見直し

#### BCPの策定

- 再編後の施設に応じた各種防災計画の見直しを行います。
- 災害時に水道への被害を最小限にとどめつつ、水道機能の早期回復を目指すための行動計画であるBCP（事業継続計画）を策定します。

### 【施策イメージ】

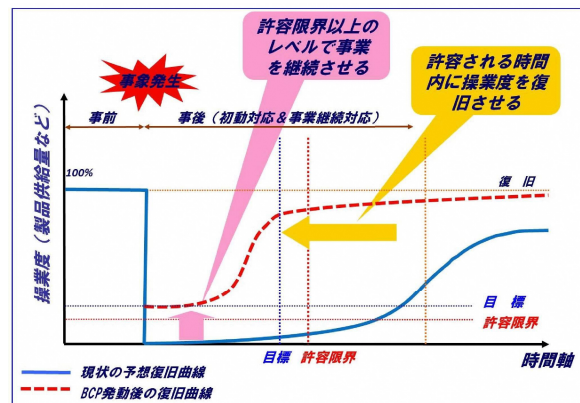


図 1.1-1 事業継続計画 (BCP) の概念<sup>1, 2)</sup>

#### BCP（事業継続計画）の概念

（出典）事業継続ガイドライン（H25.8.内閣府）より

71

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	事業経営の健全性の確保
施策	財政基盤の強化（収入）

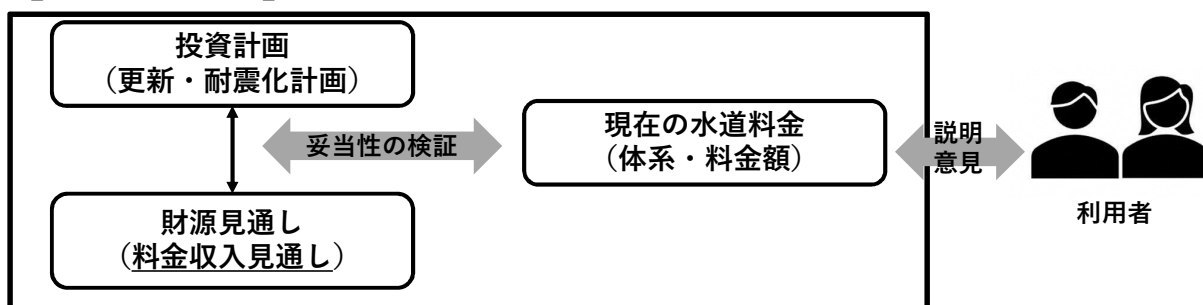
### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる見通しの中で、水道事業を健全に経営し続けるため、財政基盤を強化します。

### 【具体的施策】料金体系の検証

- 将来の投資・財政計画を踏まえ、料金高騰や世代間の不公平が生じないように、現行料金体系の妥当性を検証します。
- 口座割引制度などの新たなサービスについても検討します。

### 【施策イメージ】



72

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	事業経営の健全性の確保
施策	財政基盤の強化（収入）

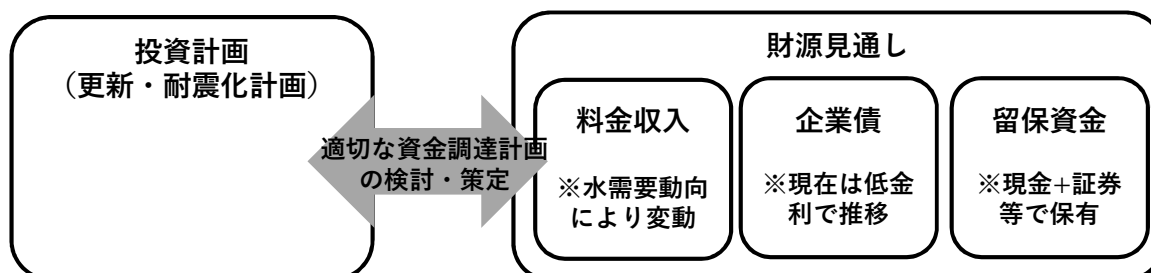
### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる見通しの中で、水道事業を健全に経営し続けるため、財政基盤を強化します。

### 【具体的施策】資金調達計画の策定

- 今後、増大する更新事業費に対応するため、料金収入の減少や低金利を踏まえた現金保有率の水準設定、計画的な企業債発行など長期的な資金調達計画を策定します。

### 【施策イメージ】



73

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	事業経営の健全性の確保
施策	財政基盤の強化（支出）

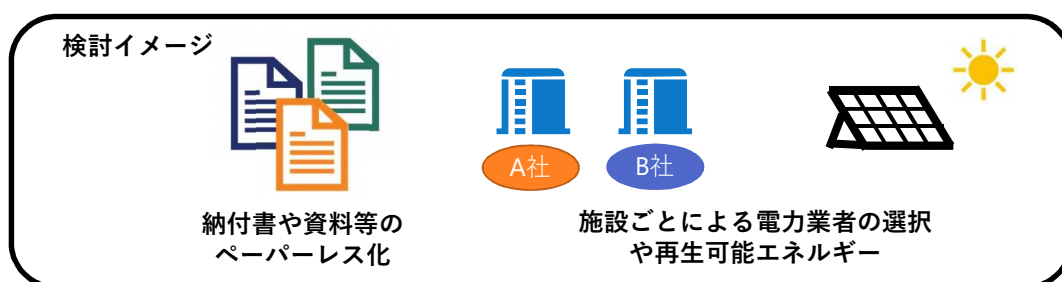
### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる見通しの中で、水道事業を健全に経営し続けるため、支出を抑制し、財政基盤を強化します。

### 【具体的施策】支出の削減方策の検討

- 統廃合による経費削減や包括委託・シェアードサービスの導入、共同購入のほか、現行の業務全般を見直し、更なる費用削減の方策の検討を行います。

### 【施策イメージ】



74

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	事業経営の健全性の確保
施策	財政基盤の強化（その他）

### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる見通しの中で、水道事業を健全に経営し続けるため、現有資産の有効活用を図ります。

### 【具体的施策】遊休資産の整理

- 現在休止中の施設や、統廃合による廃止が決定した施設など、不要となった施設の解体を実施するとともに、用地の利活用の検討や売却等の財産管理台帳を整理します。

### 【施策イメージ】



75



## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	施設の効率性・健全性の確保
施策	配水区域の再編 <span style="float: right;">★重要施策</span>

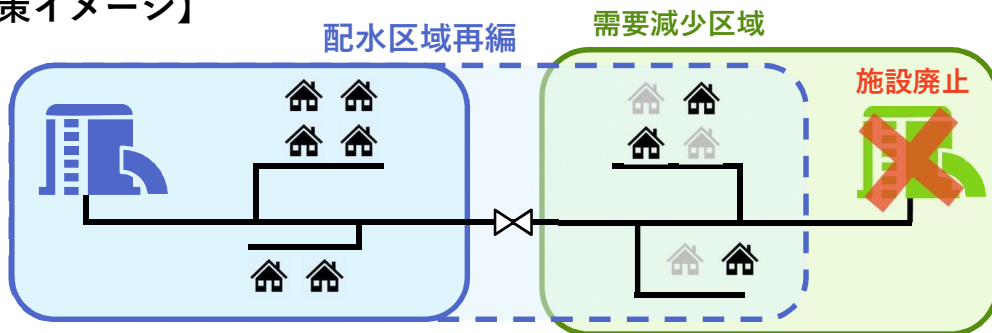
### 【目標】

将来水需要が減少する見通しの中で、需要に適した配水区域の再編を行い、施設の効率性・健全性を確保します。

### 【具体的施策】施設再編（浄配水施設の統廃合）

- 将来の水需要予測から適正な配水区域として再編した統廃合計画について、水需要推移や統廃合に伴う施設整備時期などを踏まえ、適切な統廃合年度を設定し、ロードマップとしてとりまとめます。

### 【施策イメージ】



76

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	施設の効率性・健全性の確保
施策	施設・管路適正化の検討 <span style="float: right;">★重要施策</span>

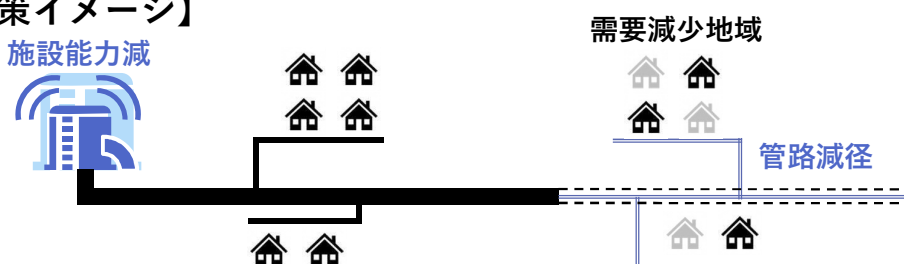
### 【目標】

将来水需要が減少する見通しの中で、需要に適した施設規模の適正化を行い、施設の効率性・健全性を確保します。

### 【具体的施策】施設・管路能力の見直し（ダウンサイジング）

- 将来の水需要予測及び配水区域再編結果を踏まえて、既設管路の管網計算を実施し、流速・動水勾配データ等から適正な施設・管路能力を決定し、更新計画を取りまとめます。

### 【施策イメージ】



77

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	施設の効率性・健全性の確保
施策	施設情報管理の強化

### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる中、浄・配水施設や設備、管路などの水道施設の情報を整理し、電子化を図ることで施設情報管理を強化し、施設管理の効率性を向上させます。

### 【具体的施策】施設台帳の電子化 マッピングシステムの再構築

- 業務効率化のため、紙ベースで管理されている施設台帳を整理・電子化します。
- 既に整備済のマッピングシステムについて再構築を行い、管路の管理精度を向上させます。

### 【施策イメージ】



78

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	運営基盤の強化
施策	官民連携の実施

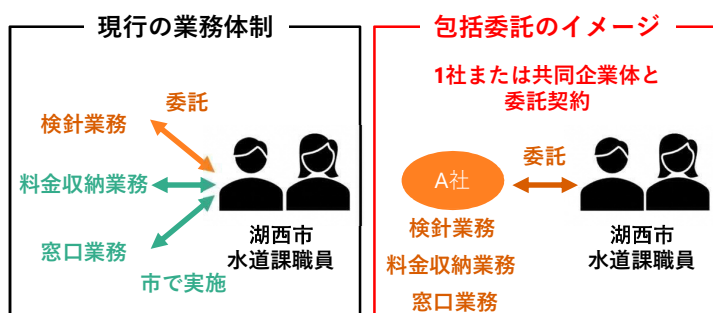
### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる中、これまで直営職員で対応していた業務の一部について民間活力の活用を検討し、運営体制の強化を図ります。

### 【具体的施策】水道料金収納業務等包括委託の導入

- 現在、委託している検針業務と職員が行っている料金収納・窓口業務の全てを一括して民間へ委託し、コスト縮減やサービス向上を図ります。

### 【施策イメージ】



79

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	運営基盤の強化
施策	新技術の導入

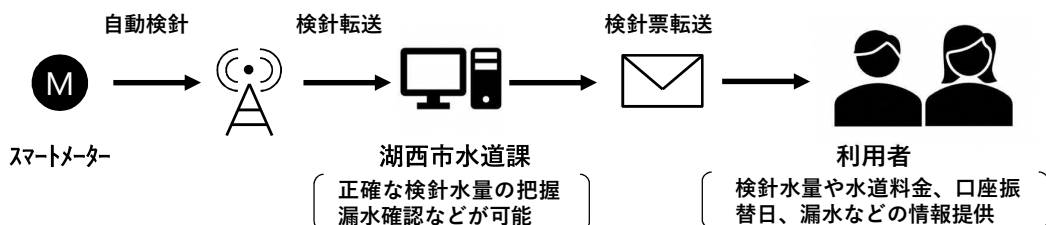
### 【目標】

IT技術の進歩が急激に進む中で、最新技術による業務改善・新サービスの検討を行います。

### 【具体的施策】自動検針・検針票のデジタル化の実証実験

- 新技術である自動検針（スマートメーター）やSMS配信サービスを活用し、検針作業から検針票配布までの検針業務のデジタル化を検討するため、実証実験を行います。

### 【施策イメージ】



80

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	運営基盤の強化
施策	技術（技術習得）の継承

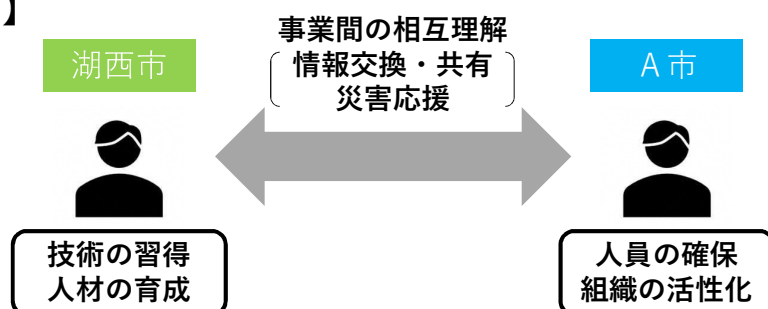
### 【目標】

将来的なベテラン職員の退職、職員減少などによる技術・能力低下において、職員の技術継承のために他事業体との人事交流等を積極的に実施し、水道技術の継承を図ります。

### 【具体的施策】他事業体との人事交流

- 湖西市と同様な浄水設備を持つ先進事業体や技術力を持った事業体と人事交流に向けた調整を行います。

### 【施策イメージ】



81

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	運営基盤の強化
施策	利用者との相互理解の推進

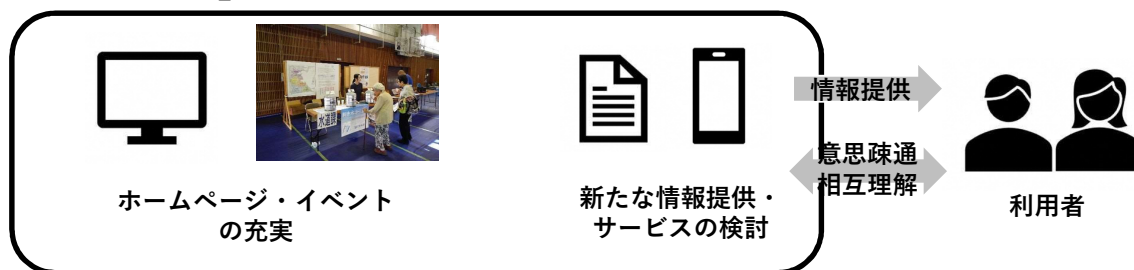
### 【目標】

将来事業環境が厳しくなる中、利用者との相互理解のもと経営判断していくことが必要であるため、市民が水道事業への関心を持てる環境づくりに取り組みます。

### 【具体的施策】新たな情報提供・サービスの導入

- 利用者に水道事業への理解を深めてもらうため、ホームページ・イベントの充実や新たな情報提供・サービスなどの検討を行います。

### 【施策イメージ】



82

## 第4章 4. 取り組み施策 【持続】

基本施策	運営基盤の強化
施策	県の動向を踏まえた広域化の検討

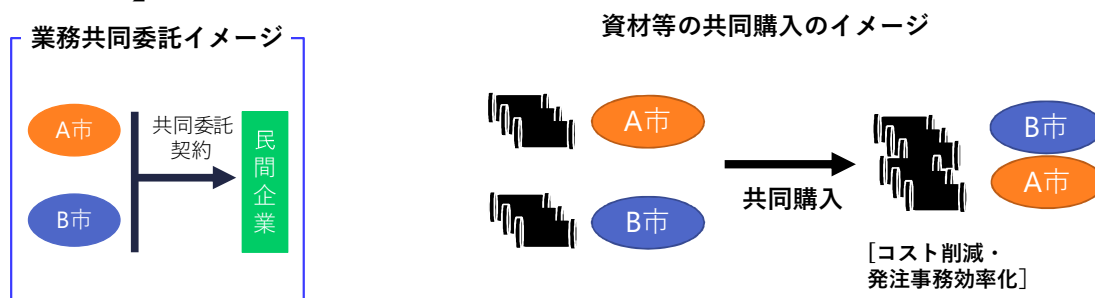
### 【目標】

県では水道法改正を受け、広域化の検討を進めています。本市において県の動向を踏まえるとともに将来を見据え、運営基盤の強化に資する広域化手法について検討します。

### 【具体的施策】シェアードサービスの導入 資材等の共同購入

- 県の動向を踏まえ、県内外を含む近隣事業者とシェアードサービス（一部業務の共同委託）や資材の共同購入を検討します。

### 【施策イメージ】



83